

◆団体基本情報

No.	23	種別	株式会社	団体名	仙台交通株式会社		
所在地	〒981-3133 仙台市泉区泉中央一丁目8-3						
電話番号	022-243-2174		FAX番号	022-243-2176		所管 部局	交通局 総務課
団体ホームページ	http://sendaikotsu.co.jp						
代表者職氏名	代表取締役社長 森 研一郎			設立年月日	昭和61年12月19日		
資本金・基本財産	75,000 千円		市の出資額 (割合)	75,000 千円 (100.0 %)			
設立目的	仙台市営バス・地下鉄事業等, 市の交通事業の補完的役割を担い, 市民サービスに寄与する。						
事業概要	仙台市バス及び地下鉄関連保守管理, 清掃						
評価対象決算期	令和3年4月1日～令和4年3月31日						

◆人員等の状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
①常勤役員数	3 人	3 人	3 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	3 人	3 人	3 人
②常勤役員平均年齢	61.7 歳	62.7 歳	62.3 歳
③常勤役員平均年間報酬	5,607 千円	5,524 千円	5,208 千円
④職員数	279 人	274 人	276 人
うち市派遣	0 人	1 人	1 人
市退職者	7 人	6 人	5 人
⑤職員平均年齢	51.4 歳	50.8 歳	52.3 歳
⑥職員平均年間給与	2,857 千円	2,890 千円	2,906 千円

◆主要財務データ

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
①営業利益	5,963 千円	32,093 千円	44,364 千円
②経常利益	14,206 千円	37,352 千円	49,806 千円
③当期純利益 (税引後)	10,364 千円	22,947 千円	33,016 千円
④繰越利益剰余金	16,912 千円	39,858 千円	72,875 千円
⑤利益剰余金	470,740 千円	493,686 千円	526,703 千円
⑥資本金	75,000 千円	75,000 千円	75,000 千円
⑦純資産	545,740 千円	568,686 千円	601,703 千円
⑧長期借入金残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆市の財政的関与

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
①市からの補助金	0 千円	0 千円	0 千円
②市からの委託料 (指定管理料含む)	1,373,244 千円	1,417,555 千円	1,432,236 千円
③市に対する収入依存度	91.59 %	92.54 %	92.27 %
④市からの借入金	0 千円	0 千円	0 千円
⑤市からの債務保証に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円
⑥市からの損失補償に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和3年度事業費
高速事業	仙台市地下鉄駅舎設備及び車両保守管理等	589,631 千円
環境事業	仙台市地下鉄駅舎清掃及び車両清掃	284,944 千円
自動車事業	仙台市営バス車両整備点検	291,600 千円
サービス業	乗車券発売・販売等	199,448 千円
不動産事業	駐車場管理	41,947 千円
広告事業		746 千円
施設運営事業	市電保存館維持管理案内	2,831 千円

◆経営評価の総括

項目	外郭団体による総括	所管局によるコメント
1. 公益的使命・市が期待する役割への対応	<p>バスの路上故障件数が、組織的な対策・取組みにより、前年度の路上故障件数を下回る結果となった。また、地下鉄においても駅舎の設備故障など、不測の事態が発生した際に迅速な対応を行うことができた。車両の整備、電気・建築設備等の保守管理、車両清掃、定期券発行などの受託業務も着実に実施された。このことにより、バス・地下鉄利用者への安全・安心で快適な運行とサービスの向上に寄与することができた。</p>	<p>バスの路上故障件数を減少させるなど、バス・地下鉄の安全運行及び利用者の利便性向上に大きく貢献しており、本市の交通事業を補完するという設立目的を適切に果たしている。</p>
2. 業務・組織管理	<p>当社事業の約9割が交通局からの受託事業である。今後も委託者へ、より高度なサービスを提供するため、OJTによる技術の蓄積に加え、専門機関が実施する技術研修を社員に受講させ、技術力の向上を図っていく。また、定期券の発売や案内業務においては利用者に対し適切なサービスを提供しているところである。</p>	<p>各般の取組みにより、社員の資質向上を行っている点は評価できる。令和4年3月に策定した新たな中期経営計画に基づき、各目標の達成に向けて引き続き取り組んでいただきたい。</p>
3. 財務状況	<p>黒字の状態が平成27年度から続いており、現状において財務状況は安定している。</p>	<p>平成27年度以降、継続して純利益を計上しており、財務状況が安定していることは評価できる。引き続き、経営基盤の強化に努めていただきたい。</p>
4. 今後の方向性及び課題	<p>現状において財務状況は安定しており、次年度以降もこの状況を継続してまいりたい。また、新たに計画された「中期経営計画2022」を着実に実施し、有能な社員の確保や社員の仕事に取組む意欲を高め、組織力の向上を図り、活力のある職場作りを取組まなくてはならないと考えている。</p>	<p>財務状況が継続して安定している点は評価できる。今後は、新たに策定した中期経営計画に基づき、人材の確保や多様な社員を育成するとともに、より良い職場環境の実現を目指しながら、安定した経営管理を継続していただきたい。</p>